



月号 クラスだより



ひよこ組

5月のねらい

- ・保育者に気持ちや欲求を受けとめてもらい安心して過ごす。
- ・室内やテラスでハイハイや腹ばいなど十分に身体を動かして遊ぶ。

<ドキドキな園生活>

新たな環境での生活からあっという間に1カ月が経ちました。4月当初は子どもたちも保護者の皆さんもドキドキだったことと思います。子どもたちはお父さん、お母さんから離れ泣いてしまうこともありましたが、抱っこしてもらったり保育者の膝に座って一緒に遊ぶことで段々と安心できるようになって、好きなおもちゃに自分から手を伸ばして遊ぶようになり、笑顔も増えてきました。

最近は童謡やわらべうたを歌うとじっと保育者を見つめて聞いていたり、マラカスや鈴のおもちゃを振ってニコニコ喜ぶ姿も見られたりします。室内やテラスでは段々とハイハイで自由に動くようになり、保育者が「まてまて～」と追いかけると嬉しそうに這って逃げようとしてみたり、斜面をハイハイで坂の登り降りして身体を動かすことも楽しんでいきます。

毎日の生活の中で、食事、睡眠、遊びなどの基本的な生活リズムを整え、子どもたちが心地よく過ごせるようにし、園と家庭とで子どもたちの成長を共有し一緒に喜びあっていけたらと思っています。そして毎日が楽しく、笑顔溢れる1年にしていきたいと思っています。

りす組

5月のねらい

- ・保育者に見守られながら、安心して過ごす。
- ・見る、触れる、拾うなど、こどもの興味や発見を大切にし、散歩を楽しむ。

<お散歩だいすき！>

りす組になって、あっという間に1ヶ月が経ちました。4月当初は慣れない環境に不安な様子を見ていた子もいましたが、日々過ごしていく中で好きな遊びを見つけたり、外へ出ると涙が止まり、笑顔で過ごせるようになってきました。

「お散歩に行こうか！」と言うと「やったー！」と大喜びの子どもたちです。公園では葉っぱや花、石を見つけたり、見つけたものを保育者のところまで持ってきて見せにきてくれる姿もあります。「あつたね」「きれいだね」と言葉を掛けると、嬉しそうに頷いたり「まだあるかな」とさらに探しに行き、見つけると表情がパッと明るくなり「見つけた！」という喜びが伝わってきます。これからも子どもたちの発見や驚きに寄り添いながら、探索活動を楽しんでいきたいと思っています。





うさぎ組

5月のねらい

- ・砂、泥の感触を味わいながら思いきり楽しむ。
- ・保育者や友だちとごっこ遊びを楽しむ。

<大人気のウレタン積み木>

うさぎ組の部屋にはウレタン素材でできたウレタン積み木があります。こどもたちはこのウレタン積み木で遊ぶのが大好きで、1日中ウレタン積み木で遊ぶ子がいるほど人気です。慎重に積んだり豪快に崩したり、乗ったりまたがったり跳んだりと色々な遊び方で遊んでいます。保育者と一緒に家や一本橋を作り、「入ってもいいよ!」「一本橋わたれ!」と言いながら気の合う友だちと遊ぶ姿もあります。時には「この色がよかった!」「私が使ってた!」とイメージの違いでトラブルになって取り合う場面もありますが、保育者が間に入りお互いが納得できるように話しながら関わっています。保育者もこどもたちのイメージや世界に寄り添い、友だち同士の関わりも大切にしながら、様々な遊び方で思う存分遊びたいと思います。



ちゅうりっぷ組

5月のねらい

- ・身の回りのことを自分でやろうとする気持ちが育つ。
- ・好きな遊びを見つけ、友だちや保育者と関わりながら楽しむ。

<わくわくのちゅうりっぷ組がスタート!>

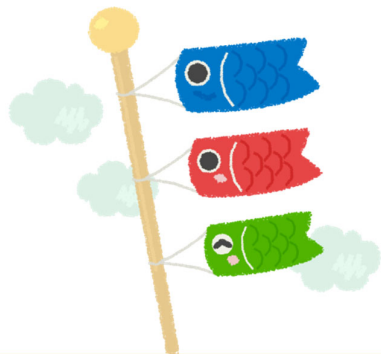
新しい環境に少しずつ慣れ、憧れていたちゅうりっぷ組での生活を楽しむ姿が見られるようになってきました。

進級当初は、タオルや衣類などの汚れ物をどこにしまったら良いか分からず戸惑っていたこどもたちでしたが、今では保育者の声かけを聞いて少しずつ“自分でやってみよう”と身の回りのことに意欲的に取り組む姿が増えてきています。自分で出来た時には「できた!」という喜びや自信に繋がっているようです。

そして、暖かい日も増え、戸外では泥水遊びを楽しむ姿も見られるようになってきました。感触遊びを楽しむだけでなく、パイプを坂に見立てて上から水を流したり、おままごとでは自分専用のコップや容器に水を入れて調合したりと遊びも少しずつ本格的になってきています。好きな遊びを見つけじっくり楽しんだり、友だちと関わりながら遊びを広げたりと、それぞれが思い思いに過ごしています。

新しい生活の中で、少しずつ“自分で出来ること”や“やってみたい気持ち”を大切にしながら、こどもたち1人ひとりの成長を見守っていきたいと思います。





さくら組

5月のねらい

- ・生活の仕方がわかり、積極的に自分からやってみようとする。
- ・虫や花など春の自然に興味を持ち、観察したり調べてみる。

<大きくなった自覚>

進級して1ヶ月が経ちました。新ちゅうりっぷ組の子たちを見ると「1年前はあんなに小さかったんだな」と、改めて成長したことに気づかされました。こどもたちは新しい生活に戸惑うことなく、生きいきと生活しています。

ちゅうりっぷ組からさくら組へ進級する時はこどもたちが大きく変わる時だと思います。うさぎ組からの進級の時は、進級するって、大きくなるってどういうことなのか、はっきりとはわかっていなかったと思います。お兄さん、お姉さんになったね、という言葉にただ大喜びしていた、まだ可愛い姿でした。今年のはっきり「お兄さん、お姉さんになった」という自覚が芽生えて、朝夕ホールで過ごすことや雑巾がけをすることに喜びややりがいを感じているようです。テラスで無邪気に走り回るちゅうりっぷ組さん横目で見ながら、気の合う友だちと同じ遊びを楽しむさくら組さんが、ちょっぴりかっこよく見えました。

もみじ組

5月のねらい

- ・集団あそびやグループ活動を通して、友だちとの仲間意識をもつ。
- ・植物や虫の観察、野菜の栽培を通して、動植物への興味関心を深める。

<みんなで食べられるもの>

もみじ組第一弾のクッキングはゼリー作り。リンゴジュースがあるよと調理室からのお誘いもあり、リンゴゼリー作りを提案してみました。すると…「リンゴゼリー…たべらんない…」とポツリ言った子が。友だちも、「そういえば嫌いだよねえ。」「ミカンゼリーはすっぱいけど、リンゴゼリーは大丈夫だよ!」「こないだ(園外で)ぶどうゼリーなら食べれるって言ってたからぶどうジュース買ってればいいんじゃない?」などなど、気が付いたことをみんなで話し出しました。給食のゼリーは100%果汁なので市販より酸っぱく感じるので、砂糖をちょっと足したら食べられるかなあ?と案を出すと、「そうだよ!お砂糖って甘~いの♪だから食べられるかもよ!」「ちょうせんしてみたら?」と周りも勧めてみます。…が、やっぱり苦手なものは苦手。みんなが飲めてゼリーにできるものはなんだろう…と考え始めると、「水!水はみんな飲む!水ゼリー!!」とこどもらしい案も出ました(笑)出し合っていくうちに、「牛乳なら飲めない人いないじゃん!」にみんな納得!話し合いを経て、牛乳ゼリー(牛乳寒天)クッキングに決定しました。友だちの意見や気持ちに考えを巡らせ、みんなで決めていく。年長クラスでの1年間、大事にしていきたいです。

